

視聴覚教育

NO. 217

発行日 7. 11. 1

発行 岡崎市AVL

編集 広報委員会

視聴覚キーワード

「Gコード」
ジェムスター・コード。
テレビ番組表に記された
数字を専用リモコンに打
ちこむことによって自動
的に録画を始めるという
仕組み。予約録画を簡単
かつ身近なものにしてい
る。

自作ビデオ教材制作活動に想う

現職教育視聴覚部長 白井正壯

今、ライブラリーでは平成七年度自作ビデオ教材の本編集が行われています。

小五社会「八丁味噌―伝統の味を守る―」
中三社会「リサイクル活動―現状とその課題―」
小四社会「いつでもある水?」
小五社会「六ッ美の花作り」
中三理科「五十年前の大地震」
社会教育「城下町 岡崎―その成り立ち―」
の六本です。

今年、久しぶりに自作の編集会議に数回参加して、作品を鑑賞する機会をいただきました。そこには、何よりも三十五名のメンバーの新しい感覚、発想、そして熱気があふれていました。私が自作活動に参加したのが二十五年前。その頃と比べると、オーブンテープからカセットテープにかわり、機器操作も容易となり、映像も美しくなりました。とはいえ、勤務終了後の編集会議や、休日を利用しての撮影等は昔も今

も変わっていないことでしよう。

私が自作に取り組んでいた頃、一本の作品制作に要する時間が多くかかることを反省して、目標を八十時間にすることがあります。しっかりとコンテを作ること、無駄な撮影を省くように努力することを話し合ったことを思い出します。機器が進歩したとはいえ、今でも随分長い時間をかけて制作に取り組んでいるようです。

長い歴史を持つ岡崎の自作ビデオ教材制作活動ですが、常に若い先生方のやる気と奉仕の心に支えられてきました。同時に、視聴覚ライブラリーを中心に、現職教育視聴覚部、社会科部、理科部の協力体制があるからこそ、岡崎では組織的活動を進展させることができていると思います。

VODの実験もこの財産があればこそ可能なのです。自作ビデオ教材を大いに活用して、児童・生徒の学習に役立てて欲しいものです。



|| 視聴覚教育あれこれ ||

視聴覚教育研究発表校紹介

美川中学校

「個が生きる授業」

―メディア教材・機器の活用―

本校は、平成二年度「情報化社会に生きる生徒の育成を目指して」を研究テーマに、コンピュータ教育の研究発表会を実施した。

以後、パソコンタイムの継続実践とともに、パソコンを中心とした視聴覚機器のメディアリテラシーの育成やソフトの開発、その活用方法などを「個が生きる」という視点にたって研究を深めてきた。そして、それぞれのメディア教材・機器が果たす教育的効果を確認するとともに、生徒一人一人の学習を支援する上で、その活用が有意義なものであることを認識することができた。

本年度、新しい学力観に基づいた教育を実践していくことを目標として、研究主題「個が生きる授業」、サブテーマ「メディア教材・機器の活用」を研究の重点として取りあげ、研究発表会を十一月十日に実施する。

なお岡崎市マルチメディア開発委員会の実験授業（テレビ会議）も同時に公開する。



毎日がテレビ放送

城南小 横山 誉夫

本校の放送スタジオは、実は他の学校とはちよつとちがったところにある。視聴覚室が、多目的スペースとして使用できるようになっており、準備室に調整卓が入っているのである。

そのため、テレビ放送によるゲーム集会や、昼の放送を利用しての表彰など、視聴覚室の広さを活用した番組が放送されている。

来年で本校も開校二十周年。放送設備も古くなったものがあり、音声放送の調子が良くないところも出てきた。

「雑音が入って聞きづらい。」

「うちの教室だけ、放送が聞こえない。」

修繕が終わるまで、そのクラスだけがまんしもらうというわけにもいかず、苦肉の策として始めたのが、それまで週に二日間行っていたテレビ放送を毎日やってしまうというものであった。

最初は、テレビカメラの前に立つと緊張して、まちがえてばかりいたり、ついに一度も顔を上げられなかった子供たちも、一週、二週とたつうちに、だんだんと笑顔を見せて献立の紹介ができるようになっていった。さすがに、毎日ともなると、ほとんどの日がビデオを放映することが主体の放送となってしまうものの、今では、お昼の放送Ⅱテレビ放送、という型式が定着し

ている。

新しく放送委員になった四年生の一番の楽しみは、「一日も早く、テレビで自分が原稿を読んでいる姿を見せようこと」のようである。

これからは、子供たちが自分たちで撮影したビデオニュースを放送できるようにしたいと考えているが、こればかりは毎日というわけにはいかないかもしれない。



Ⅱレッツ トライ!Ⅱ

立体資料も鮮明に!

教材提示装置

教材提示装置というと、写真、図表、子供のノートなど平面の資料をテレビ画面に映し出すといったイメージが強い。しかし、平面の資料に限らず、立体的な資料にも利用できる。

小学校五年生理科「植物の成長」では、ウキクサの増え方の観察をする。子供たちがノートにまとめた実験方法を発表することはもちろん、子供たちの思いの込められた、増えたウキクサの容器そのものを教材提示装置を使って、テレビ画面に映し出した。画面に映った一枚一枚の葉を真剣に教え友達と比較をする子供たち。

教材提示装置は、実物を拡大し、体験の共有化を図るために有効な機器でもある。

(梅園小 三浦 幹 弘)

ライブラリーだより

☆小学校修学旅行用教材の巡回

小学校の修学旅行(京都・奈良方面)のシーズンが近づきました。修学旅行用映画・スライド・ビデオ教材の巡回を実施しています。事前指導にご活用下さい。

Aブロック

- 「学習の旅：京都」(16ミリ) 20分
- 「修学旅行事前研究：奈良」(16ミリ) 30分
- 「貴族の世の中」(16ミリ) 20分
- 「奈良・古寺の旅」(スライド) 60コマ
- 「奈良・古代のなぞ」(ビデオ) 15分
- 「京都・暮らしの四季」(ビデオ) 15分

Bブロック

- 「学習の旅：奈良」(16ミリ) 20分
- 「修学旅行事前研究：京都」(16ミリ) 30分
- 「聖武天皇と奈良の大仏」(16ミリ) 20分
- 「京都・古都の美」(スライド) 80コマ
- 「奈良・平城京はいま」(ビデオ) 15分
- 「京都・歴史に生きる」(ビデオ) 15分

☆人事異動

十月一日付で、山田賛平指導員は、市教育委員会へ指導主事として転出。代って新香山中の内田義和先生が指導に当たられます。よろしくお願いいたします。

